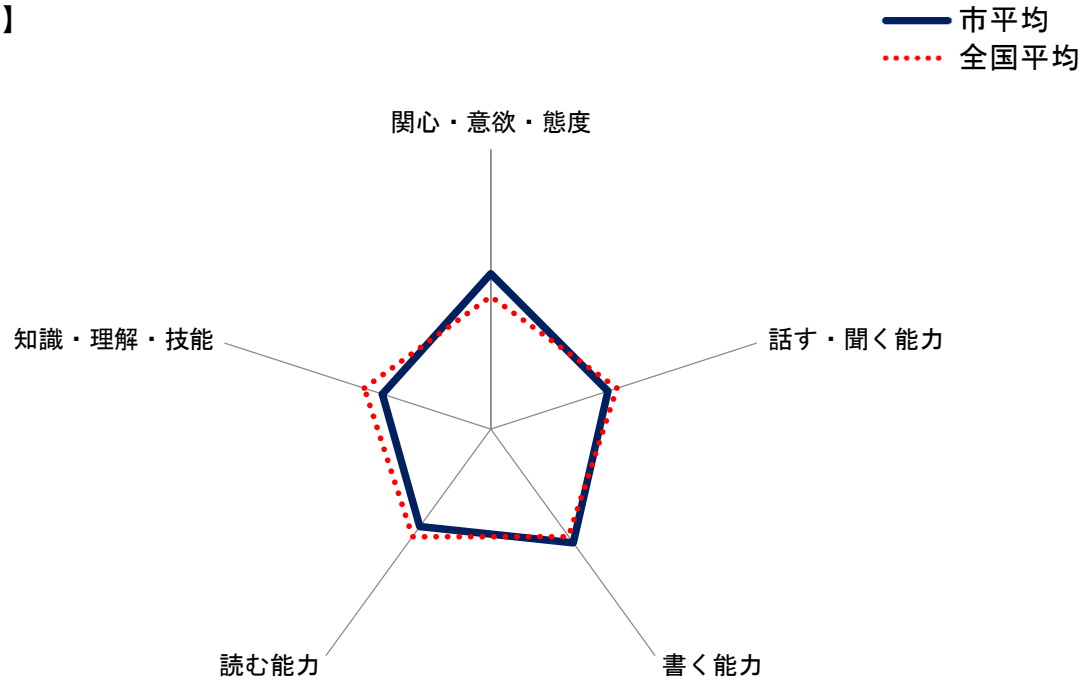
中学校

令和３年度　全国学力・学習状況調査
（各教科観点別等の状況）結果

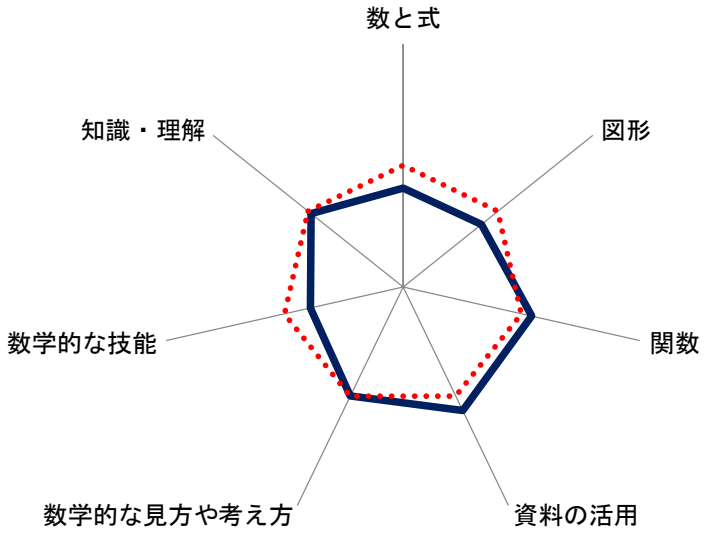
大洲市

○　教科に関する調査（全国の平均正答率との差）

【国語】



【数学】

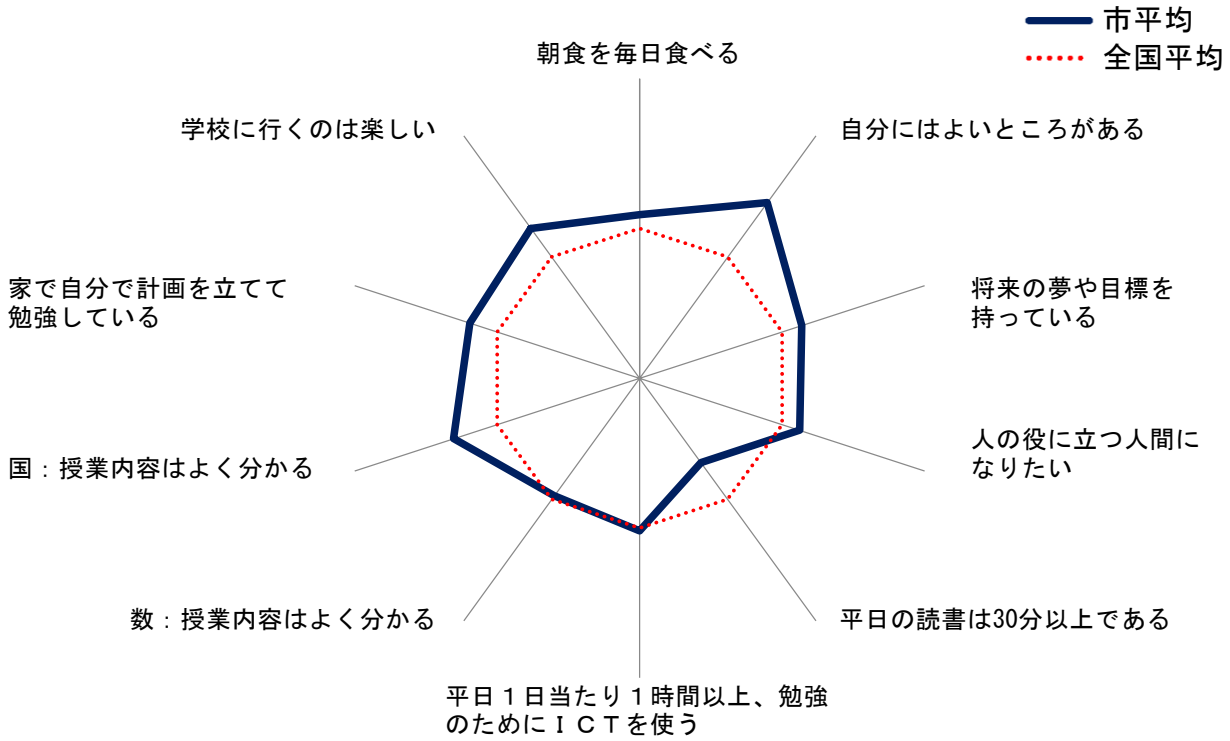


中学校

令和３年度　全国学力・学習状況調査
（学習や生活の状況）結果

大洲市

○　生徒質問紙調査（全国の平均回答率との差：肯定的な回答）



○　結果の分析と改善策

教科に関する調査では、国語は「知識・理解・技能」などの項目が、数学は「数と式」「図形」などの項目が全国平均を下回っており、基礎的な知識及び技能の定着に課題が見られる。今後、設問ごとに詳細な分析を行い、課題を洗い出すとともに、「おおずの授業スタンダード」を基にした授業改善に引き続き取り組むことが望まれる。

生徒質問紙調査では、取り上げている多くの項目が全国平均を大きく上回っている。特に「自分にはよいところがある」の項目が全国平均を大きく上回り、前回の調査以上に良好な結果となっている。また、「学校に行くのは楽しい」「家で自分で計画を立てて勉強している」などの項目も全国平均を上回っている。一方、「平日の読書は３０分以上である」の項目は、前回の調査では改善されていたが、今回は全国平均を下回っており、読書習慣の定着に課題が見られる。今後は、より一層、読書活動の充実に向けて、小・中学校で連携した取組や家庭や地域への啓発等を工夫するなど計画的な指導が望まれる。